

教 科	商 業	科 目	電子商取引	単位数	2
学 年	3 年	類 型	情報ビジネス科A類型		
教科書（出版社）	電子商取引 新訂版（実教出版）				
副教材（出版社）					
授業の概要	各種ソフトウェアを活用し、商取引における情報の処理や活用を実践する。				
授業の目標	1 高度情報社会における企業の役割を理解させる。 2 情報通信ネットワークを活用した商取引の意義を理解させるとともに、それを行うための知識と技術を習得させる。 3 利用者の立場に立ったシステムを構築するため、コンピュータを効果的に活用する能力と態度を育てる。				
年間学習計画	学習内容（単元・項目）	学 習 目 標			
1 学期	第1章 情報通信技術の進歩とビジネス 第2章 コンテンツの制作 第3章 ウェブデザインと広告・広報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報通信技術の発展が、ビジネスの形態や広告・広報活動をどのように変化させてきたかを理解させる。</li> <li>・図形・静止画・動画・音声などのファイル形式やその特徴について理解させる。</li> <li>・ウェブデザインの意義や役割について理解させるとともに、デザインの基礎的な知識を習得させる。</li> <li>・HTMLの基本的なタグやスタイルシート（CSS）、JavaScriptの利用方法を理解させるとともに、ウェブページ作成ソフトウェアやワープロソフトウェアを利用する方法で、ウェブページを作成する基本的な技法を習得させる。</li> </ul>			
2 学期	第4章 ウェブページの公開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェブページを公開するための手順について理解させるとともに、インターネットの基礎的な知識を習得させる。</li> </ul>			
3 学期	第5章 電子商取引とビジネス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子商取引の意義や役割について理解させる。</li> <li>・電子商取引サイト開業に必要な手順を理解させるとともに、店舗運営を行うための基礎的な知識を習得させる。</li> </ul>			
観点別評価	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解	
	ビジネスにおける電子商取引の必要性に気づき、商取引に情報通信技術を活用しようとする意欲を持って、電子商取引システムの構築に必要な知識や技能を積極的に学ぼうとしている。	電子商取引システムを構築するために、目的に応じた機器やソフトウェアを選択して利用したり、顧客の立場に立ったデザインに加工する工夫を行うとともに、分かりやすい情報発信ができる。	図形や静止画、動画、音声などのコンテンツを利用した情報発信に必要な機器やソフトウェアの利用および、ウェブページの作成技法を身につけるとともに、これらを活用して電子商取引システムを作成できる。	ビジネスにおける電子商取引の意義や役割を理解するとともに、ウェブページを用いて情報を効果的に伝えるための基礎知識や分析、企画・立案、制作、公開の手法を身につけている。	
備考	4つの観点に基づき、各学期ごとに100点法で評価し、学年末には、各学期の評価を平均し総合的に評価する。				